



図2 2010年3月14日福島県沖の地震(M6.7)の発生前後の静穏化・活発化の状況

太平洋プレート付近のM3.0以上の地震(デクラスタ Δ 10km、7日間)を明田川・伊藤(2008)の方法で検出した静穏化・活発化の領域。それぞれの領域は、震源から半径30kmの円内の活動から得られた出現確率1%以下の領域を示す。